



第2回 携帯電話分野に関する意見交換会 ご説明資料

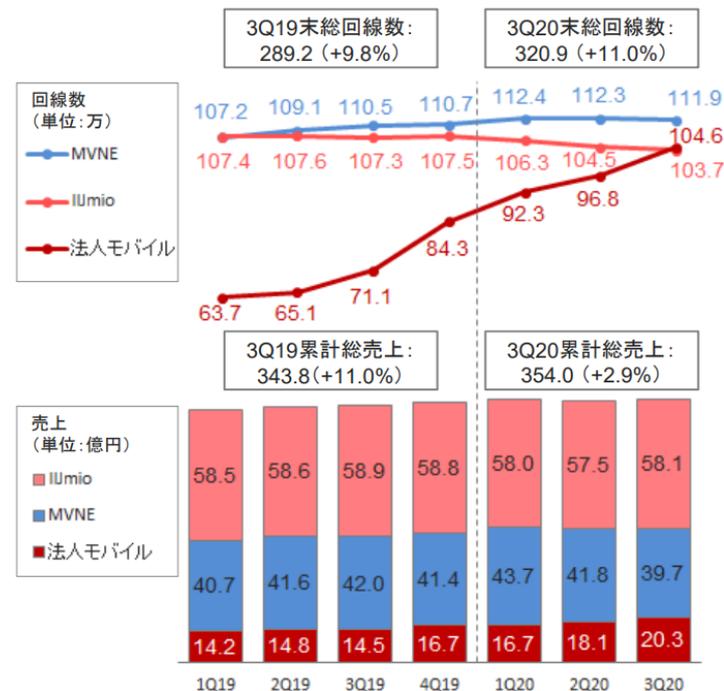


2021/03/30
株式会社インターネットイニシアティブ
MVNO事業部

Ongoing Innovation

IIJmio (個人) の状況

- コロナによる外国人需要減・リアル店舗への来店数低下、MNO新プランによる低価格化等、市場は変革期
- 法人モバイルによる牽引で、モバイル総回線数・売上拡大が継続
- MNOの新プランによる競争の激化に対応し、個人事業の維持・拡大を図るには、MNOのデータ接続料、音声料金等の更なる低廉化が不可欠



※2021年3月期第3四半期 連結業績説明資料より

新プランの概要

- ドコモ網、au網、eSIMが選択可能
- 1契約者最大10回線まで契約でき、同一契約者のギガプラン回線同士でデータ容量のシェアが可能
- IIJmioひかりとのセット契約で光回線より毎月600円を割引

	2ギガプラン	4ギガプラン	8ギガプラン	15ギガプラン	20ギガプラン
音声SIM (データ通信+音声通話機能)	780円	980円	1,380円	1,680円	1,880円
SMS機能付きSIM (データ通信+SMS)	750円	950円	1,350円	1,650円	1,850円
データ通信専用SIM (データ通信/タイプDのみ)	680円	880円	1,280円	1,580円	1,780円
eSIM (データ通信/NTTドコモ網のみ)	400円	600円	1,000円	1,300円	1,500円

構成員限り

SIMロック原則禁止

- SIMロックの原則禁止は、消費者の利便性、流動性を高めることに寄与し、携帯電話市場の競争を活性化させるものであり、歓迎

eSIMのメリット

- eSIMは、消費者の「申込からSIM到着までのリードタイム削減」、「SIM差替えの手間の削減」、「訪日外国人等一時的な利用への即応」、「用途に応じたSIMの使い分け」といった利用の柔軟化をもたらす
- 利用者の流動性を高め、かつ市場競争の活性化、サービス向上等に寄与

RSP機能開放への要望

- 音声通話が可能なeSIMを自ら提供するには、MNOと自前のHLR/HSSや音声交換網を連携するフルMVNOとなる必要があり、MVNO自らによる対応は現時点で事実上困難
- 多くのMVNOが、データ通信・音声通話ともにeSIM対応する為には、MNO自身がeSIM対応で用いるRSP機能を、MVNOにも機能開放する必要

eSIMサービス提供予定

- 前述の状況から、「音声も含めたeSIM対応」は、MNOの機能開放のスケジュールに依存し、現状では未定
- 一部のMNO(KDDI、ソフトバンク)においては、eSIMの提供を開始する旨を発表しているが、MVNOがMNOと同時期にeSIMを用いたサービスを開始できるよう、事前の情報提供・協議をお願いしている

特定デバイスに係る課題

- Apple Watchにおいて、「MNOのeSIMのみインストール可能」といった、特定のデバイスに起因する利用者利便性に係る課題があり、改善を希望している

データ接続料の水準

- アクション・プランにて、データ接続料の「3年間で2019年度比5割減を目指す」という目標が掲げられたこと、また、2月には、総務省より、データ接続料の一層精緻な算定についてのMNOへの要請がなされたことは、大変望ましい
- 他方、2月末に算定されたFY21-23将来原価は、アクションプランの掲げる5割減を1年前倒しで達成するものの、MNO新プランと通信品質を含めた競争をする上では必ずしも望ましい水準とは言えず、更なる低廉化を希望するところ

将来原価方式への要望

- 加えて、事業の「予見性確保」や「接続約款の届出時期」には依然として課題がある
- 特に、約款の届出時期については、MNOが3月の商戦期に合わせて新プランを提供する現在の状況を踏まえると、現状の2月末の届出では、MVNOが将来の原価を踏まえた新たなプランを検討したくとも遅きに失する。12月への前倒しなど、更なる改善を要望する

音声卸料金の早期見直し

- 音声卸の接続による代替性の有無については、2月に、MNO 3社より、プレフィックス自動付与機能を含む約款届出があったことから、改めて接続代替性の有無について検証結果の案が総務省より示され、意見募集がなされている
- MVNOが、音声サービスについて、短期的に競争力のあるプランを提供していくためには、代替性検証と並行して、即時性のある卸料金の値下げが行われることが重要

接続と卸の十分な代替性

- 接続における自動プレフィックス付与機能については、中長期的に接続・卸の代替性を確保し、MVNOがメリット・デメリットを踏まえた自由な選択を可能とし得る可能性があるものとして評価
- 一方で、接続をMVNOが利用しづらいような移行阻害的な提供条件がないか、卸役務の条件変更に関する協議が十分に行われているか等を引き続き検証し、代替性が評価されるべき

5Gサービスの提供状況・予定

- 法人向けに、NSA方式による、データ通信専用プランを提供済
- 個人向けに、NSA方式による、データ通信・音声通話プランを、2021年6月より開始予定

5GSA 提供上の課題

- 5GSA方式時代においては、MNOの5G無線NW(物理設備)を、MVNOがAPI等を用いて、MNOと同等の自由度で扱えるようになることが肝要
- その為には、MVNO委員会が提唱する「VMNO構想」の実現が、電波資源の有効活用、様々な主体が競争する市場の構築において、望ましい
- 「接続料の算定等に関する研究会」における議論の方向性を踏まえ、MVNO委員会と3MNO間で、機能開放の在り方等の整理に向けた事業者間協議を実施中。5月下旬に同研究会にて、報告予定

乗換え事例の紹介

- 自社WEBサイトにて、代表的な乗換えパターンに応じた手続きフロー等を紹介

窓口でのサポート

- 代理店カウンター窓口にて、乗換えに関するサポートを実施



マネするだけで
カンタン乗り換え

格安SIM 乗り換えガイド

KAKUYASU SIM NORIKAE GUIDE

家族みんなでお得にスマートフォンを使いこなしたい！

PATTERN A
3大キャリアから
家族全員乗り換えたい

PATTERN B
他の格安SIMから
家族全員乗り換えたい

PATTERN C
父のみIIJmioユーザー
家族もIIJmioにまとめた

PATTERN D
息子がスマホデビュー
初スマホはあえてIIJmioで

- 12月のMNO新プラン発表に対し、IIJはMNOとの間でデータならびに音声のコストに対する情報の非対称性があるなか、事業リスクを抱えた形で今春新たなプランを提供開始する。これらは、**IIJがMVNEとしてサービスを提供する多くの2次・3次のMVNOにとっても同様**。MNOの技術やコストの変化があった際に、速やかな情報提供がなされることが望ましい
- 以下の点についても、速やかに対応されることによって、公正な競争環境確保が促進されることが望ましい
 - ✓ MVNOが、音声サービスについて、短期的に競争力のあるプランを提供していくため、**代替性検証と並行した即時性のある卸料金の値下げ**
 - ✓ 接続における自動プレフィックス付与機能について、**中長期的に接続と卸の代替性を確保し、MVNOがメリット・デメリットを踏まえた自由な選択を可能とすること**
 - ✓ **データ接続料について、MVNOのサービスが、通信品質面を含めMNO新プランに互せるよう、一層の低廉化ならびに届出時期の更なる前倒し**

提出データ



- 通信契約の契約総数（2019年4月～2020年12月（月別））
- 新規通信契約者数の推移（2019年4月～2020年12月（月別））
- MNPによる転出数・転入数の推移（2019年10月～2020年12月（月別））

構成員限り

Appendix



5G(SA方式)時代における機能開放の在り方(VMNO構想)

3

- 当委員会は、5G(SA方式)時代のMVNOとして「**VMNO(Virtual MNO)構想**」を提唱し、そのなかで**VMNOの方向性として「ライトVMNO」と「フルVMNO」の2つを提案している**

<ライトVMNO>

- 標準化されたAPIを用いてMNOの仮想基盤を制御し、MNOの提供する回線やスライスをコントロールすることで高度で先進的なサービスを実現

<フルVMNO>

- MNOの無線ネットワーク(物理設備)に、仮想通信事業者自らが構築・運用する仮想基盤を接続し、自らスライシングが可能な5Gコアネットワークを運用することで高度なサービスを独自に実現

【5G(SA方式)におけるネットワーク】



「VMNO構想」のねらい

<「VMNO構想」提唱の背景>

- 5G(SA方式)時代のMVNOについて、MNOとMVNOが共通のビジョンや方向性をもって、その実現を図っていくことが必要
- まずは、業界団体として、目指す姿・ありたい姿を示し推進することで、MNO、MVNOそれぞれの検討や協議等にも寄与すると考え、「VMNO構想」を提唱

<「VMNO構想」のねらい>

- 5G(SA方式)の恩恵を社会や産業の隅々まで行き渡らせ、Society5.0を実現するうえで、「VMNO構想」は、5G(SA方式)時代に相応しい仮想通信事業者の在り方と考える

ライトVMNO

- MNOの5Gコアネットワークを、MNOと同等に利用することで、多彩なソリューションやサービスを提供
- 少ない投資で参入できる等、低い障壁のもと、より多くの事業者が参入

多数の「ライトVMNO」が、5Gを用いた先進的なソリューションを潤沢に市場投入

フルVMNO

- 無線網以外のMNO依存をなくすことで、MNOネットワークの制約なく自由度の高いサービス開発を実現
- ローカル5G等、様々な無線網を組合せた革新的な事業展開が可能
- 「ライトVMNO」の参入促進にも貢献

「フルVMNO」が、より5Gの特性を活かした革新的なソリューションを市場投入

Lead Initiative

日本のインターネットは1992年、IIJとともに始まりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつも始まりであり、未来です。



Ongoing Innovation

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。本文中では™、®マークは表示していません。

©2013 Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved. 本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。